



2021-3-19

報道関係各位

選手が取り組む社会貢献活動の内容が決定 初めて開幕投手を務める予定の 高橋 光成投手が今シーズンから活動をスタート！ 外崎選手は支援内容を上方修正！地元の野球振興に貢献へ



社会貢献活動に今シーズン取り組む高橋投手

株式会社西武ライオンズでは、2018年3月に地域コミュニティ活動「^{エル・フレンズ}L-FRIENDS」を発足し、以降、「野球振興」「子ども支援」「地域活性」、そして昨年から新たに「環境支援」を加えて4つの柱のもと、野球教室の開催やオレンジリボン運動など、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。また同時に、埼玉西武ライオンズの選手たちも、小児がんの子どもとそのご家族をライオンズの主催試合に招待したり、試合での成績に応じてグローブやランドセルを寄付するなど、さまざまな活動を行っています。

今シーズンからは、開幕投手を務める予定の高橋 光成投手が新たに社会貢献活動に取り組みます。愛犬家である高橋投手は、登板した試合ごとに2万円を積み立て、災害救助犬を育成し、地震や災害などの現場で行方不明者の捜索を行う団体に寄付をします。さらに外崎選手は、これまで実施してきた活動に加えて、地元青森県弘前市の野球協会を新たな支援先に追加して活動します。

また、今井 達也投手、増田 達至投手、平井 克典投手、内海 哲也投手、武隈 祥太投手、森 友哉選手、山川 穂高選手、栗山 巧選手の8選手につきましても、昨シーズンに引き続き、同様の活動を継続していきます。

詳細は以下のとおりです。

L-FRIENDS 概要

2018年3月より当社が行っているコミュニティ活動の総称。

「野球振興」「子ども支援」「地域活性」「環境支援」の4つの柱として、よりすこやかな社会、のびやかな未来を目指しさまざまな活動を行っています。L-FRIENDSのロゴは、地域・ファン・選手・スタッフを、個性的な形を持つハートで表現し、それらが集まり、心がつながって未来へ向けて花開くプロジェクトであることをデザインしました。このハートの一つひとつは、LIONSの「L」も表現しています。

(L-FRIENDS 特設サイト/<https://www.seibulions.jp/lfriends/>)



各選手の社会貢献活動の内容

◆高橋 光成投手

<p>活動内容</p>	<p>【地震や豪雨災害などの現場で活躍する災害救助犬を支援(2021 シーズンから実施)】</p> <p>2021 シーズン公式戦において、高橋投手が登板した試合ごとに2万円を積み立て、シーズン終了後に災害救助犬を育成し、地震や豪雨災害などの現場で行方不明者の捜索を行う「NPO 法人日本捜索救助犬協会(https://www.japan-srda.net/)」に寄付をします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">平成 23 年 3 月 東日本大震災 行方不明者捜索の様子</p> <p style="text-align: center;">平成 26 年 8 月 豪雨 広島市土砂災害 行方不明者捜索の様子</p>
<p>コメント</p>	<p>ライオンズの先輩方が社会貢献活動に取り組んでいる姿を見て、いつか僕も取り組みたいという思いを抱くようになりました。実家で犬を飼っていることもあって、幼い頃から犬が大好きなので、犬に関係する活動ができれば良いと考えていました。犬は、単に可愛いだけではなく、時に私たち人間のことを守ってくれる頼もしい存在です。いろいろと犬について調べていくなかで、地震や豪雨災害などの現場で活躍する災害救助犬がいることを知りました。僕は、大きな災害に遭ったことがないので、簡単には言えませんが、とても過酷な環境下で、きっと怖い思いをしながら人間のために懸命に働く救助犬は凄いなと思います。救助犬に負けないように、僕も、苦しい時こそチームを助けられるような投球をしていきたいですし、しっかりと結果を残さないといけなくて自覚しています。今シーズンはじめて開幕投手にも指名していただきました。シーズンをとおして、感謝の気持ちと覚悟を持ってマウンドに上がります。</p>

◆外崎 修汰選手

<p>活動内容</p>	<p>【子ども食堂をはじめとした子どもたちの居場所づくりを支援(2019 シーズンから継続実施)】</p> <p>2021 シーズン公式戦において自身が盗塁を決めるごとに1万円を寄付します。</p> <p>本活動は「社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会(http://www.toko-shakyo.or.jp/)」のご協力のもと実施します。</p> <p>※寄付金は、「社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会」の「所沢市子ども未来基金」とおして、子ども食堂をはじめとした子どもたちの居場所づくり支援活動に役立てていただきます。</p> <p>【弘前市野球協会をとおして弘前市内の保育施設に、バットやボールなどを寄贈(2021 シーズンから実施)】</p> <p>2021 シーズン公式戦において自身が盗塁を決めるごとに1万円を積み立て、積み立てた金額で弘前市内の保育施設にバットやボールなどを寄贈し、野球振興活動に役立てます。</p>
<p>コメント</p>	<p>今年から、子ども食堂の支援に加えて、地元弘前市の保育施設にTボールセットを寄贈することになりましたが、これはもっとたくさんの子どもたちに野球を楽しんでもらって、また好きになってほしいと思っていたからです。社会貢献活動を始めて3年目ですし、新しく何をやろうかと考えていましたが、すぐに「これだ」と思いました。子ども食堂をはじめとした子どもたちの居場所づくりの支援も継続していきます。今シーズンこそ、常に目標にしている盗塁「30」の壁を打ち破って、たくさんの子どもたちが笑顔になるきっかけを作れたらと思っています。</p>

◆今井 達也投手

活動内容	【所沢市の知的障がい児や肢体不自由児をご招待(2020 シーズンから継続実施)】 埼玉西武ライオンズが本拠地を置く所沢市に在住する知的障がい児や肢体不自由児とご家族が集まり、教育・福祉・生活・労働・医療への理解を深めて高めていただく活動を目的とする「所沢市手をつなぐ親の会(※1)」「ヘットライフドームの年間予約席を森 友哉選手、栗山巧選手と共に寄付いたします(※2)。
コメント	昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で球場に招待することができませんでしたが、中継などとおして良い結果を届けたいと思ってマウンドに立っていました。僕はこの活動を昨年から始めたので、まだ皆さんにお会いしたことがありませんが、1 日でもはやくメットライフドームに遊びに来てもらいたいですし、勇気や元気が出るような躍動感のあるピッチングをお見せしたいです！新型コロナウイルスが収束したら直接交流ができることを楽しみにしています。

◆増田 達至投手

活動内容	【NICU 病棟を支援(2018 シーズンから継続実施)】 2021 シーズン公式戦において、増田投手が登板した試合ごとに 2 万円を積み立て、シーズン終了後に NICU 病棟がある以下の 2 カ所の病院に寄付・寄贈します。 寄付・寄贈先は、ライオンズが本拠地を置く埼玉県の新生児医療を支える病院施設と、増田投手の子どもがお世話になった「大阪母子医療センター(https://www.wch.opho.jp/)」です。
コメント	昨年は、病院で皆さんと触れ合うことができないシーズンだったからこそ、画面を通じてでもいいニュースを届けたいという想いが常にありました。今年も小さな命や赤ちゃんを守るご家族の皆さんに少しでも力になればうれしいです。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今 NICU に入院されている赤ちゃんのご家族は、たくさんの不安を抱えていらっしゃるかと思います。皆さんの励みになるように、僕はどんなピンチでも動じず、ファンの皆さんを安心させるような投球ができればと思いますし、収束したらまた交流をできることを楽しみにしています。

◆平井 克典投手

活動内容	【ひとり親や経済的に恵まれないご家庭のお子さまなどにグローブを寄付(2020 シーズンから継続実施)】 家庭環境や経済的な問題を抱えるこどもたちへの野球振興活動を行う「一般社団法人日本未来スポーツ振興協会(https://jf-sports.or.jp/)」へ、2021 シーズン公式戦において平井投手が登板するごとに 1 個、さらに登板した試合において勝利投手になるごとに追加で 1 個グローブを寄贈します。寄贈したグローブは、一般社団法人日本未来スポーツ振興協会を通して、ひとり親や経済的に恵まれないご家庭のお子さまなどに提供し、野球を楽しむきっかけとしていただけます。
コメント	今シーズンは自分にとって「新しい挑戦」の年です。 たくさんグローブを寄付できるように、しっかり先発ローテーションを守って、毎週チームに貢献するようがんばります。昨年までは(主に)中継ぎをやらせてもらいましたが、先発でチームの貯金に増やせるようにやっていきたいです。ピッチャーにも先発や中継ぎなどいろんな役割があるんだな、どこもやりがいのあるポジションだな、と子どもたちに思っただけなら最高ですね。やっぱり野球はいつまでも人気スポーツであってほしいですし、今年も「投げる」ことで野球振興に貢献していきたいです。

◆内海 哲也投手

活動内容	【児童養護施設の子どもたちへランドセルを寄贈(2009 シーズンから継続実施)】 2021 シーズン公式戦において、内海投手の投球イニング数ごとにランドセル 1 個を、シーズン終了後に埼玉県をはじめ全国の児童養護施設で生活する新一年生を対象に寄贈します。
コメント	一つでも多くのランドセルを届け、一人でも多くの子どもたちが笑顔になってくれるとうれしいですし、その喜んでくれる姿が僕の今の活力になっています。今年も強気のピッチングをお見せします。

◆武隈 祥太投手

活動内容	【難病の子どもとご家族を支援(2019 シーズンから継続実施)】 難病の子どもとご家族の支援を今シーズンも継続して行います。難病の子どもとご家族をライオンズ主催試合にご招待します(※2)。また、2021 シーズン公式戦において、武隈投手が登板した試合数、ホールド数ごとに 1 万円を、さらに登板した試合においてチームが勝利した場合には 2 万円を積み立て、シーズン終了後に「難病の子どもとその家族に夢を(https://www.yumewo.org/)」に寄付します。
コメント	この活動をはじめた年に、球場で子どもやご家族の方と交流し、とても勇気づけられたことを今でも覚えています。昨年は悔しいシーズンとなりましたが、今年は 1 試合でも多く良いピッチングを見せられるようにがんばります。

◆森 友哉選手

活動内容	【所沢市の知的障がい児や肢体不自由児をご招待(2019 シーズンから継続実施)】 埼玉西武ライオンズが本拠地を置く所沢市に在住する、知的障がい児や肢体不自由児とご家族が集まり、教育・福祉・生活・労働・医療への理解を深めていただく活動を目的とする「所沢市手をつなぐ親の会(※1)」へメットライフドームの年間予約席を今井 達也投手、栗山巧選手と共に寄付します(※2)。 【環境支援(2020 シーズンから継続実施)】 2021 シーズン公式戦において 1 打点につき 1 万円を積み立て、合計金額の半分を「彩の国みどりの基金(https://www.pref.saitama.lg.jp/a0508/midorisaisei-top/kikin.html)」へ、残りの半分を「堺市はなみどり基金(https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/koen/kikin/index.html)」に寄付します。
コメント	昨シーズンは自分自身、非常に悔しいシーズンでした。 もっと打って、チームにも社会にも貢献できたのではないかという気持ちですね…。 その中で、今年もやっぱり「打点」を意識して社会貢献活動をしたいので、昨年と同じ内容で行います。 理由は、打点の積み重ねはチームの勝ちに直結しますし、日本一を目指しているからこそ、そこにこだわっていくべきだと思ったからです。貪欲にランナーを返していきたいです。 僕の 1 打点が環境保全に繋がるように打席では集中してフルスイングをします。

◆山川 穂高選手

活動内容	<p>【地元沖縄県などの環境支援(2020 シーズンから継続実施)】</p> <p>2021 シーズン公式戦において 1 打点につき 1 万円を積み立て、合計金額の半分を「彩の国みどりの基金(https://www.pref.saitama.lg.jp/a0508/midorisaisei-top/kikin.html)」へ、残りの半分を「公益社団法人沖縄県緑化推進委員会(https://www.oki-green.or.jp/?page_id=35)」に寄付します。</p>
コメント	<p>この活動を始めて 2 年目になりますが、もちろん今年はもっと多くの金額を寄付できるように、1 打席 1 打席を大事にしていきたいです。</p> <p>昨年、(森) 友哉から「もっと目標を上げたい」と言われて、1 打点ごとの支援をすることになりましたが、年間通じて塁上のランナーを返せるようにやっていきたいです。</p> <p>友哉とはお互い切磋琢磨してやっていきたいですし、高いレベルで争えるように。その中で、シーズンが終わった時に、僕が勝てるようにがんばってきたいです！</p>

◆栗山 巧選手

活動内容	<p>【小児がんのこどもとご家族を支援(2014 シーズンから継続実施)】</p> <p>小児がんのこどもとご家族の支援を今シーズンも継続して行います。小児がんのこどもとご家族をライオンズ主催試合にご招待し、また、小児病棟が必要としている物品を寄贈します(※2)。</p> <p>本活動は「公益財団法人 がんの子どもを守る会(http://www.ccaj-found.or.jp/)」のご協力のもと実施します。</p> <p>【所沢市の知的障がい児や肢体不自由児をご招待(2006 シーズンから継続実施)】</p> <p>埼玉西武ライオンズが本拠地を置く所沢市に在住する、知的障がい児や肢体不自由児とご家族が集まり、教育・福祉・生活・労働・医療への理解を深めていただく活動を目的とする「所沢市手をつなぐ親の会(※1)」へメットライフドームの年間予約席を今井 達也投手、森 友哉選手と共に寄付します(※2)。</p>
コメント	<p>この活動をととして、球場に来てくれたこどもたちやご家族の皆さんの笑顔や声援に僕がいつも力をもらっています。昨年は、球場で皆さんと触れ合うことができませんでしたが、中継やニュースなどを通じて僕の活躍を届けたいという想いをもちながらプレーしていました。今年も目の前の 1 試合 1 試合に集中して、活躍する姿を見てほしいです。収束したらまた交流できることを楽しみにしていますし、新しくなったメットライフドームに早く招待したいですね。</p>

(※1)所沢市手をつなぐ親の会とは

"所沢市に在住する知的障害児や肢体不自由児とご家族が集まり、教育・福祉・生活・労働・医療への理解を高めていただく活動を目的としている団体。

(※2)新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、内容を一部変更して活動する場合がございます。

【お客さまのお問合せ先】

埼玉西武ライオンズインフォメーションセンター TEL:0570-01-1950

一軍公式戦非開催日(平日 10 時～18 時)※一軍公式戦の開催がない土・日・祝は休日となります。

一軍公式戦開催日のナイターゲーム(10 時～20 時)／一軍公式戦開催日のデーゲーム(10 時～18 時)